

要請番号 (JL63622A16)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ルワンダ	A101 コミュニティ開発		個別	交替 2代目	2年	・ 2023/1 ・ 2023/2 ・ 2023/3

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

地方自治省

2) 配属機関名 (日本語)

カヨンザ郡カバロンドセクター事務所

3) 任地 (東部県カヨンザ郡カバロンドセクター) JICA事務所の所在地 (キガリ市)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (車 で 約 2.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

東部県カヨンザ郡には、行政単位であるセクターが12あり、カバロンドセクターはそのうちのひとつである。セクター事務所は、市民サービス課、社会福祉課、農業課、会計課で構成されていて、住民の生活全般に対する各種サービスを提供している。農業課では、野菜の栽培やコーヒーの栽培など多岐にわたる活動を実施している。同郡の人口の95%は農業従事者であり、低湿地を中心に野菜栽培・稲作が営まれており、首都キガリへのアクセスが良いことから、農産物の生産地として近年農業開発が進んでいる。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

コーヒー豆は換金作物として重宝され、栽培農家も増えているが、東部県はコーヒーの栽培に関しては、他の地域に比べて収量・品質ともに遅れをとっている。また、同地域は個人農家が多く、生産量の大幅増を見込めないのが現状である。多くの農家がコーヒー豆の品質・味に関する知識を持たず、また栽培技術も未発達のため、品質・収量ともに改善が求められている。2021年5月から派遣されている隊員は近隣の農業組合に出向き、コーヒーの収量・品質向上を目指した啓発活動を実施している。同国では、2021年よりJICAの技術協力プロジェクト「コーヒーバリューチェーン改善プロジェクト」が実施されている。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

- ・ 配属先関係者と協力して、任地のコーヒー農家の生産状況等を調査・把握し、以下の活動内容から選択して実施する。
- 1. コーヒーの収量・品質向上を目指した農家・組合への啓発活動を実施する。
- 2. 栽培に関する技術向上を支援する。
- 3. コーヒーの定植・管理状況に関する監督・助言をする。
- 4. 組合に対して効率的な運営へ助言を行う。
- ・ 必要に応じて他のコーヒー関連隊員及びコーヒー関連のJICA事業関係者と情報共有・協働を行う。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

事務スペース(机・椅子)

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚: セクター農業技官(30代、男性)

活動対象者: 地元農家、農業組合、コーヒー加工処理センター、セクター農業技官、郡農業技官(換金作物担当)、等

5) 活動使用言語

英語

6) 生活使用言語

その他

7) 選考指定言語

英語(レベル:C)

【資格条件等】

[免許]：（ ）

[学歴]：（大卒） 備考：査証取得に必要なため

[性別]：（ ） 備考：

[経験]：（ ） 備考：

[汎用経験]：

- ・コーヒー栽培や加工方法に関する知識や経験
- ・農作業経験3か月以上

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（サバナ気候） 気温：（13～30℃位）

[電気]：（不安定）

[通信]：（インターネット可 電話可）

[水道]：（不安定）

【特記事項】

- ・活動場所であるコーヒー畑には蜂がいる可能性があるため、エビペン持参が望ましい。